

2015年度本屋大賞

第1位

『鹿の王』上橋菜穂子 (角川書店)

大国との交渉のために死を覚悟しながら戦った小国の騎士団「独角(どっかく)」の長、ヴァン。敗北し、岩塩鉱の奴隷にされるが、突如謎の病が蔓延し、その隙に逃亡する。一方、凄腕の医師ホッサルは、病を解明しようとするが……。
不思議で幻想的な世界観が楽しめます。

第2位

『サラバ!』西加奈子 (小学館)

父の赴任先のイランで生まれた坏歩は、日本に戻り、しばらく大阪で過ごした後、エジプトへ向かう、そしてそこで、彼の今後の人生を大きく左右するような、運命的な出来事が起こり……!
親友との出会い、別れ、歩とその家族の成長を繊細に描き出す、青春の物語!

第3位

『ハケンアニメ!』辻村深月 (マガジンハウス)

「派遣」じゃなくて「覇権」!! アニメ業界で活躍する三人の女性の仕事愛、人間愛あふれる、読後感すっきり系小説!!
情熱を持って真摯にアニメ制作に向き合う登場人物たちを見ていると、「私も仕事、勉強がんばろう!」と、元気が湧いてくること間違いなし!!
また、辻村深月ファンにはたまらない仕掛けが……!?

- 4位『本屋さんのダイアナ』柚木麻子 (新潮社) 5位『土漠の花』月村了衛 (幻冬舎)
6位『怒り』吉田修一 (中央公論新社) 7位『満願』米澤穂信 (新潮社)
8位『キャプテンサンダーボルト』阿部和重、伊坂幸太郎 (文藝春秋)
9位『アイネクライネナハトムジーク』伊坂幸太郎 (幻冬舎)
10位『億男』川村元氣 (マガジンハウス)

編集後記

- 初めての図書委員会便りで大変なことが色々ありましたが、みんなで助け合い、無事完成させることができました。(1B I. R)
- 初めての図書便り作りはみんなで案を出し合って完成させることができ、やりがいがありました。次の号もがんばります。(1D I. K)
- 本を読みたい!と思った瞬間に読みたい本がその場にないと憂えるタイプです。夏休みは、図書室で借りだめしておこうと思います。そう、図書室で!! (2B S. H)

TODAY'S JOKE (???) !!

地球最後の日

日本人「今日中に仕事を終わらせねば」

イタリア人「愛人と共に過ごそう」

ロシア人「今日はいくら飲んでも二日酔いはないわけだ」

引用：世界の紛争地ジョーク集